

基準範囲一覽

2022年3月22日 改訂第44版

東京医科歯科大学病院

検査部

【血液検査】

項目名	基準範囲	単位
白血球数	3.3~8.6	$\times 10^3 / \mu\text{L}$
赤血球数	男性 435~555	$\times 10^4 / \mu\text{L}$
	女性 386~492	
ヘモグロビン	男性 13.7~16.8	g/dL
	女性 11.6~14.8	
ヘマトクリット	男性 40.7~50.1	%
	女性 35.1~44.4	
血小板数	15.8~34.8	$\times 10^4 / \mu\text{L}$
MCV	83.6~98.2	fL
MCH	27.5~33.2	pg
MCHC	31.7~35.3	g/dL
MPV	9.2~12.0	fL
IPF	1.2~5.9	%
赤血球分布幅(RDW)	11.6~14.0	%
網赤血球数	8.0~22.0	%
白血球分画		
Neu	38.5~80.5	%
Stab	0.5~6.5	
Seg	38.0~74.0	
Lym	16.5~49.5	
Mo	2.0~10.0	
Eo	0.0~8.5	
Ba	0.0~2.5	
赤血球沈降速度	男性 2~10 女性 3~15	mm(1hr.)
PT	正常血漿対照値 $\pm 10\%$	sec
PT%	80.0~120.0	%
PT-INR	0.90~1.10	
APTT	正常血漿対照値 $\pm 25\%$	sec
フィブリノーゲン	200~400	mg/dL
AT	80.0~130.0	%
FDP	5.0未満	$\mu\text{g}/\text{mL}$
Dダイマー	1.0未満	$\mu\text{g}/\text{mL}$
TAT	4.0未満	ng/mL
PIC	0.80未満	$\mu\text{g}/\text{mL}$
出血時間	1~5	分
血小板機能異常判定		
ADP凝集	正常	
コラーゲン凝集	正常	
リストセチン	正常	
自然凝集	正常	

【骨髓像検査】

項目名	基準範囲	単位
有核細胞数	10~25	$\times 10^4 / \mu\text{L}$
巨核球数	50~150	$/ \mu\text{L}$
骨髓芽球	0.4~1.0	%
好中球系細胞 ^{*1}	40~50	%
好酸球	1~5	%
好塩基球	0.0~0.4	%
単球	2.8~5.4	%
リンパ球	15~25	%
形質細胞	0.4~2.6	%
細網細胞	1.8~6.4	%
赤芽球系細胞 ^{*2}	14~25	%

*1:前骨髓球、骨髓球、後骨髓球、好中球桿状核、好中球分葉核を含む

*2:前赤芽球、塩基性赤芽球、多染性赤芽球、正染性赤芽球、分裂像Eを含む

【一般検査】

項目名	基準範囲	単位
尿定性		
尿蛋白	陰性	
尿糖	陰性	
尿比重	1.005~1.030	
尿PH	4.5~7.5	
尿ウロビリノーゲン	±	
尿ビリルビン	陰性	
尿ケトン体	陰性	
尿白血球	陰性	
尿亜硝酸塩	陰性	
尿潜血反応	陰性	
尿沈渣		
赤血球	4以下	/HPF
白血球	4以下	/HPF
便潜血		
定量値	50以下	ng/mL
定性値	陰性	
便中カルプロテクチン	(参考基準範囲)	
炎症性腸疾患の診断補助	50以下	$\mu\text{g}/\text{g}$
潰瘍性大腸炎の病態把握の補助	300以下	
髄液細胞数	新生児 20以下 乳児 10以下 乳児以降 5以下	$/ \mu\text{L}$
関節液結晶		
尿酸ナトリウム結晶	陰性	
ヒロン酸カルシウム結晶	陰性	

【POCT】

項目名	基準範囲	単位
インフルエンザウイルス抗原		
A型抗原	陰性	
B型抗原	陰性	
肺炎球菌莢膜抗原	陰性	
レジオネラ抗原	陰性	
A群 β 溶連菌抗原	陰性	
RSウイルス抗原	陰性	
マイコプラズマ抗原	陰性	
アデノウイルス抗原	陰性	
便中アデノウイルス抗原	陰性	
ロタウイルス抗原	陰性	
ノロウイルス	陰性	
C. ディフィシル		
抗原	陰性	
トキシンA/B	陰性	
尿中hCG定性	陰性	
ヒトメタニューモウイルス抗原	陰性	
SARS-CoV-2抗原	陰性	

【遺伝子検査】

項目名	基準範囲	単位
眼感染症PCR検査		
HHV1-8DNA	陰性	
菌rRNA	陰性	
ウイルス定性・定量検査	陰性	
UGT1A1遺伝子多型解析		
UGT1A1*6	-/-	
UGT1A1*28	-/-	
SARS-CoV-2/Flu核酸同定	陰性	copies/ μL
FilmArray呼吸器パネル	陰性	

【生化学検査】

項目名	基準範囲	単位
総蛋白	6.6~8.1	g/dL
アルブミン	4.1~5.1	g/dL
尿素窒素	8.0~20.0	mg/dL
クレアチニン	男性 0.65~1.07	mg/dL
	女性 0.46~0.79	
尿酸	男性 3.7~7.8	mg/dL
	女性 2.6~5.5	
ナトリウム	138~145	mEq/L
カリウム	3.6~4.8	mEq/L
クロール	101~108	mEq/L
カルシウム	8.8~10.1	mg/dL
マグネシウム	1.8~2.4	mg/dL
無機リン	2.7~4.6	mg/dL
血糖	73~109	mg/dL
LDH	124~222	U/L
AST(GOT)	13~30	U/L
ALT(GPT)	男性 10~42	U/L
	女性 7~23	
CK	男性 59~248	U/L
	女性 41~153	
マスCK-MB	3.8以下	ng/mL
トロポニンI	23.4以下	pg/mL
ALP	38~113	U/L
γ-GTP	男性 13~64	U/L
	女性 9~32	
中性脂肪	男性 40~234	mg/dL
	女性 30~117	
総コレステロール	142~248	mg/dL
HDLコレステロール	男性 38~90	mg/dL
	女性 48~103	
LDLコレステロール	65~163	mg/dL
ChE	男性 240~486	U/L
	女性 201~421	
アミラーゼ	44~132	U/L
総ビリルビン	0.4~1.5	mg/dL
抱合ビリルビン	0.2以下	mg/dL
血清鉄	40~188	μg/dL
UIBC	男性 111~255	μg/dL
	女性 137~325	
フェリチン	男性 14~304	ng/mL
	女性 4~120	
浸透圧	275~290	mOsm/KgH ₂ O

【血液ガス分析】

項目名	基準範囲	単位
pH	7.35~7.45	
PaCO ₂	35~45	Torr(mmHg)
PaO ₂	80~100	Torr(mmHg)
HCO ₃ ⁻	22~26	mmol/L
BE	-2.0~+2.0	mmol/L
totalCO ₂		mmol/L
totalHb		g/dL
%O ₂ Hb		%
%COHb		%
%MetHb		%
%RHb		%
SaO ₂	96.0~100.0	%
O ₂ ct		ml/dL

【生化学検査】

項目名	基準範囲	単位
CRP定量	0.14以下	mg/dL
RF	15.0以下	IU/mL
MMP-3	男性 36.9~121.0	ng/mL
	女性 17.3~59.7	
LRG	6.48~13.92	μg/dL
IgG	861~1747	mg/dL
IgA	93~393	mg/dL
IgM	男性 33~183	mg/dL
	女性 50~269	
C3	73~138	mg/dL
C4	11~31	mg/dL
シスタチンC	男性 0.63~0.94	mg/L
	女性 0.52~0.85	
プレアルブミン	男性 23~42	mg/dL
	女性 22~34	
リパーゼ	13~55	U/L
アンモニア	9~47	μmol/L
蛋白分画		%
	アルブミン	53.9~66.9
	α ₁ グロブリン	2.1~4.4
	α ₂ グロブリン	4.8~9.3
	βグロブリン	9.0~14.5
γグロブリン	12.4~23.6	
CH ₅₀	32~58	U/mL
β ₂ ミクログロブリン	0.90~2.00	mg/L
血漿血糖	73~109	mg/dL
HbA1c	4.9~6.0	%
グリコアルブミン	11.0~16.0	%
尿アミラーゼ	50~500	U/L
尿無機リン	0.5~1.0	g/day
尿カルシウム	150~290	mg/day
尿クレアチニン	0.5~1.5	g/day
尿中尿素窒素	7~14	g/day
尿中尿酸	0.4~0.6	g/day
尿糖	40~85	mg/day
尿総蛋白	20~120	mg/day
尿NAG	11.5以下	IU/L
尿微量アルブミン	27以下	mg/g・CRE
尿β ₂ ミクログロブリン	289以下	μg/L
尿ナトリウム	70~250	mEq/day
尿カリウム	25~100	mEq/day
尿クロール	70~250	mEq/day
尿浸透圧	50~1300	mOsm/KgH ₂ O
髄液蛋白	8~48	mg/dL
髄液微量アルブミン	29以下	mg/L
髄液糖	50~75 (血糖値の60~70%)	mg/dL
髄液クロール	120~130	mEq/L
ICG		%
	停滞率	10以下
	消失率	0.168~0.206
最大除去率	1.56~4.80	mg/Kg/min

【免疫血清検査】

項目名	基準範囲	単位
TSH	0.50～5.00	μIU/mL
FT ₃	2.30～4.30	pg/mL
FT ₄	0.90～1.70	ng/dL
TSHRAb定量	2.0未満	IU/L
コルチゾール	6.2～18.0	μg/dL
ACTH	7.2～63.3	pg/mL
ヒト成長ホルモン (hGH)	男性 2.47以下 女性 0.13～9.88	ng/mL
BNP	18.4以下	pg/mL
NT-proBNP	カットオフ値 125以下	pg/mL
IgE	202以下	IU/mL
インタクトPTH	10.3～65.9	pg/mL
インスリン	5.0～10.0	μU/mL
C-ペプチド	1.0～3.0	ng/mL
尿中C-ペプチド	1日量 50.0～100.0	μg/day
プロラクチン	男性 4.3～13.7 女性 閉経前 4.9～29.3 女性 閉経後 3.1～15.4	ng/mL
LH	男性 1.7～8.6 女性 卵胞期 2.4～12.6 排卵期 14.0～95.6 黄体期 1.0～11.4 閉経後 7.7～58.5	mIU/mL
FSH	男性 1.5～12.4 女性 卵胞期 3.5～12.5 排卵期 4.7～21.5 黄体期 1.7～7.7 閉経後 25.8～134.8	mIU/mL
エストラジオール(E ₂)	男性 15～48 女性 卵胞期 29～196 排卵期 37～525 黄体期 45～491 閉経後 47以下	pg/mL
プロゲステロン	男性 0.2以下 女性 卵胞期 0.3以下 排卵期 5.7以下 黄体期 2.1～24.2 閉経後 0.3以下 妊娠女性 初期 13.0～51.8 中期 24.3～82.0 後期 63.5～174.4	ng/mL
HCG	男性 1.1未満 女性 非妊娠 4.0未満 妊娠女性 初期 139～31340 中期 3321～187674 後期 2751～159795	mIU/mL

【免疫血清検査】

項目名	基準範囲	単位
HBs抗原 定量値 判定値	0.005未満 陰性	IU/mL
HBs抗体定量 定量値 判定値	10.0未満 陰性	mIU/mL
HBc抗体 カットオフindex	陰性 1.0未満	C.O.I
HCV抗体 カットオフindex	陰性 1.0未満	C.O.I
HIV1/2抗原抗体	陰性	
TP抗体	陰性	
梅毒定性	陰性	
梅毒定量	1.0未満	R.U.
プロカルシトニン	0.05以下	ng/mL
β-D-グルカン	11.0未満	pg/mL
エンドキシン定量	5.0未満	pg/mL
CEA	5.0以下	ng/mL
AFP	10.0以下	ng/mL
CA125	35.0以下	U/mL
CA19-9	37.0以下	U/mL
PIVKA-II	カットオフ値 40未満	mAU/mL
M2BPGi カットオフindex	陰性 1.00未満	C.O.I
KL-6	カットオフ値 500未満	U/mL
PSA	3.53以下	ng/mL
遊離型PSA/総PSA比	カットオフ値 18以上	%
sIL-2R	156.6～474.5	U/mL
SCC	2.52以下	ng/mL

【薬物検査】

フェノバルビタール	10.0～35.0 ^{*3}	μg/mL
ジゴキシシン	0.5～1.5 ^{*3}	ng/mL
パンコマイシン	トラフ値 10.0～20.0	μg/mL
シクロスポリン	50～200 ^{*4}	ng/mL
タクロリムス	トラフ値 5～20	ng/mL
フェニトイン	10.0～20.0 ^{*3}	μg/mL
メトトレキサート	24時間値 10以下 ^{※5} 48時間値 1.0以下 ^{※5} 72時間値 0.1以下 ^{※5}	μmol/L
バルプロ酸Na	50～100 ^{*3}	μg/mL
炭酸リチウム	0.40～1.20 ^{*4}	mEq/L
カルバマゼピン	4.0～12.0 ^{*3}	μg/mL

*3:有効治療範囲 *4:有効濃度域 *5:目標血中濃度

【生理検査 臨床判断値】

心電図	
P波	高さ 0.1mV～0.2mV 幅 0.07秒～0.10秒
PQ時間	0.12秒～0.20秒
QRS時間	0.06秒～0.10秒
ST	正常では基線上にあるが0.1mV以内の上昇、0.05mV以下の下向は基準範囲内
T波	高さ 0.2mV～0.5mV 幅 0.10秒～0.25秒
QTc	0.35秒～0.44秒
電気軸	-30° ～+110°
心拍数	60bpm～100bpm(安静時、洞調律の場合)

呼吸機能	
肺活量	予測値の80%以上
1秒率	70%以上
RV/TLC	25%～30%が正常の目安とされているが、高齢者では40%程度まで増加することもある
DLco	予測値の80%以上
DLco/VA	予測値の80%以上
CV	ΔN_2 1.00±0.14%
MVV	予測値の80%以上
吸入改善試験	改善量200mL以上かつ改善率12%以上の場合、改善ありと判定する

脳波	
20～60歳の健常成人において、安静覚醒時、閉眼状態で後頭部優位、左右対称性に α 波(平均周波数9～10Hz、振幅20～60 μ V)が出現する。開眼時に α blockingが見られる。	
小児では新生児から学童期にかけて脳波が変化する。(基本波の振幅の低下、周波数の短縮、徐波の減少、律動性の向上等)生後2～3ヶ月では3～4Hzの徐波、1歳では平均6～7Hzの波形が後頭部優位に出現する。振幅、周波数ともに15～20歳にかけて安定する。	

腹部超音波(大きさは体格や年齢を考慮する)	
肝臓(大きさ)	左葉 100mm×60mm以下
	右葉深部径 130mm以下
胆嚢(大きさ)	長径 60mm～80mm
	短径 20mm～30mm
胆嚢壁	厚さ3mm未満
総胆管径	8mm未満
脾臓(大きさ) 頭部	IVCレベルで20mm～30mm程度
	SMV右縁レベルで15mm～20mm程度
	体部
尾部	SMAレベルで13mm～20mm程度
下大動脈レベルで15mm程度	
主膵管径	3mm未満
腎臓(大きさ)	90mm～120mm
脾臓(大きさ)	後上縁と前下面の距離(cm)と、脾門部を起点に直交する径(cm)を乗じた値が40cm ² 未満

心臓超音波	
左室	LVEF→基準値55%以上
	壁厚12mm以上で肥大
	LVDd55mm以上で拡張
右室	右室中央部径42mm以上で拡張
心房	LA42mm以上(4cv横径)で拡大
	RA40mm以上(4cv横径)で拡大
大動脈	Valsalva,a-Aoは40mm以上で拡大
下大静脈	21mm以上で拡大
	呼吸性変動は50%未満で(-)
推定右房圧	IVC \geq 21mmかつ呼吸性変動 \geq 50%で3mmHg
	IVCと呼吸性変動 どちらかが正常値でない場合は8mmHg
	IVC \leq 21mmかつ呼吸性変動 \leq 50%は15mmHg